

2014 12月のビオトープ ～ 2014年の最後の実り ～



12月。冬将軍がやってきました。でも、ビオトープの周りで元気よく走る子どもたちの姿が見られます。枯れはてて、さすがに葉の力もなく倒れ出しました。冬の手入れをしないといけません。12月の忙しさに追われできませんでした。早速、3学期の作業にしたいと思います。

池の周りには、たくさんの果樹の木があります。この木は、以前学年の木として、池の周りに植えられたそうです。しばらくこの木々も忘れられていま



た。

木々はみな果樹の木です。柑橘系には、ミカン・キンカンが、ベリー系では、ブルーベリー、ストロベリーツリー、その他にユスラウメもあります。きっと、生活科の学習に活用し、実りを感じさせたい意図があったのだと思います。今年は、その木々にたくさんの実りがありました。

柑橘系は、酸性の土壌を好みます。でも、ベリー系はアルカリ性の土壌を好みます。なので相反する土壌の木が混在されて植えられていました。ブルーベリーはその姿を消し、ユスラウメは、一回、根元で切って「ひこばえ」に期待をしています。

そんな植物同士の競争の中で、ミカンやキンカンがたくさんの実をつけたのです。収穫したミカンは今年は、先生たちで味見をしました。

「美味しい！」
「すごい！」



との感想がたくさん寄せられました。

キンカンもひと粒取って食べました。まだ青いものが多いので、1月になったら、環境委員会の子どもたちと収穫をしようと思います。ビオトープには1年ごとに違う発見があつておもしろいです。

2015年にはどんな発見があるのでしょうか。それを発見できる感性を磨きたいです。